



学校だより

6月号

横浜市立桜台小学校
令和2年6月1日発行

ソフトランディング

校長 小宮 健

緊急事態宣言が解除され、横浜市立学校は6月1日より段階的に教育活動を再開します。保護者、地域の皆様には、新型コロナウイルス感染防止のために、約3か月に渡る本市及び本校の様々な対応や取組にご理解とご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。また、学校の主役である481名の児童たちは、自他の命を守るために自宅にて多くのことを我慢し、辛抱を続けてきたことでしょう。頭が下がる思いでいっぱいです。

社会全体が依然として予断の許される状況ではありませんので、横浜市立学校では、第一期〔1日（月）～12日（金）〕は分散登校、第二期〔15日（月）～30日（火）〕は全員登校の午前授業として教育活動を行っていきます。三密（密閉・密集・密接）の回避を余儀なくされていることを前提に、新しい生活様式を意識し、保健管理や環境衛生など次の点に十分配慮して進めてまいります。なお、6月中は給食を実施いたしません。

- ・ こまめな換気の徹底
- ・ 多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮
- ・ 近距離での会話や大声での発声への配慮
- ・ 飛沫飛散防止のためのマスク着用
- ・ 手洗い、うがい等の励行を指導
- ・ 児童下校後に毎日行う机・椅子や共有箇所の消毒

第一期（最初の2週間）の分散登校は、教室等活動場所での児童間の距離を十分に確保するのが主なねらいです。本校では、車両進入禁止時間外となって交通量が激しくなる学園通りの状況を考慮し、午後からの登校は避け、学級を出席番号で二分して隔日の午前授業としました。

子どもたちはこれほどの長い期間の休業をこれまで経験したことはありませんが、それは教職員も同じです。「分散登校では、通常の半数での活動となるため、子どもたち一人ひとりをよく見て、しっかりと状況を把握することができる。焦らず丁寧に学習、そして学級づくりを進めていこう」と確認し合いました。このような時だからこそ、無理せずソフトランディング（軟着陸）のイメージで安心・安全に学校生活を再開させていきたいと思えます。



保護者の皆様におかれましては、現在の不安定な状況や見通しをもつことが難しい今後の動向について、不安に感じられることも多いと存じます。ご心配やご不明な点がありましたら、遠慮なく学校の方へご相談ください。第三期となる7月以降の活動内容等につきましては、改めてお知らせいたします。引き続き、配布物や配信メール、学校ホームページでの掲載事項にご留意いただき、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。